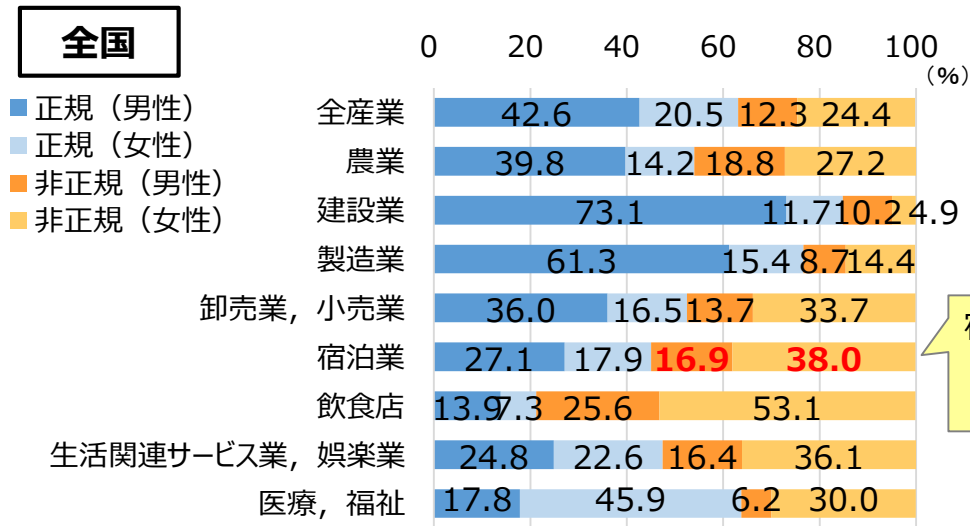
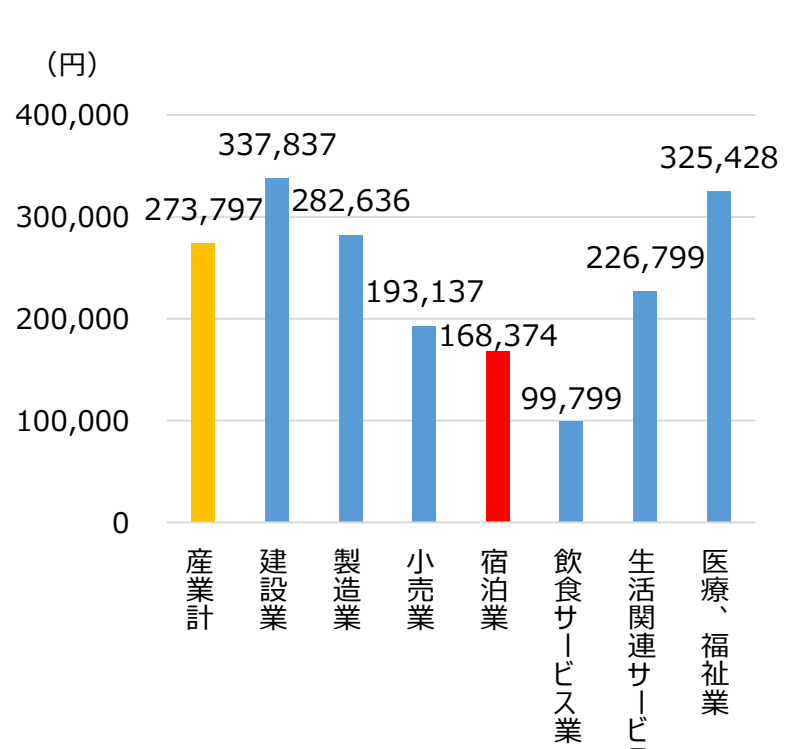
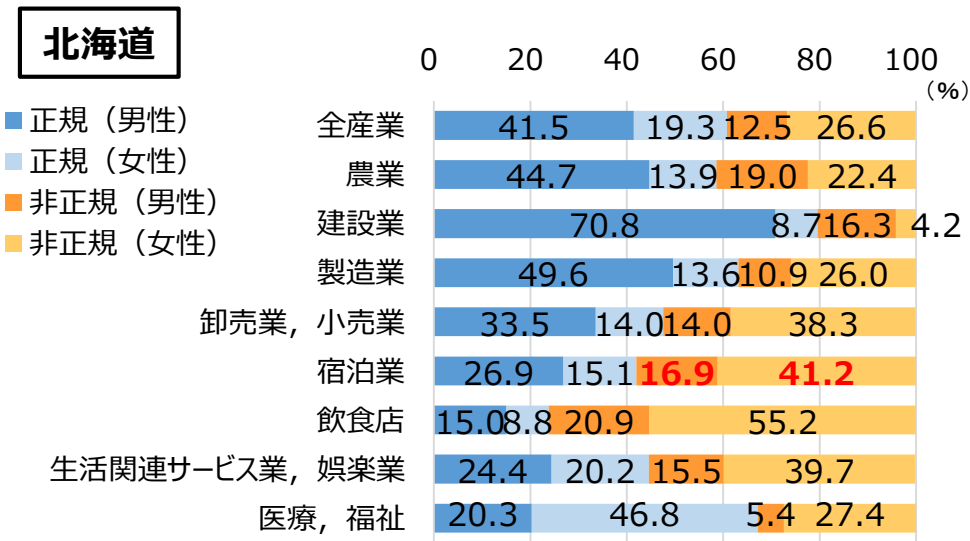


観光分野の道内雇用状況について

観光分野の経済効果に関連し雇用状況について見ると、全国的に宿泊業は非正規雇用の割合が高く、北海道は季節性の影響もあり全国よりも更に高くなっている。また、現金給与総額が低くなっている。

産業別、性別別の正規・非正規雇用の割合（H26年）

現金給与総額（H27年平均：北海道）



宿泊業非正規割合
(東京都) 44.9%
(大阪府) 52.8%

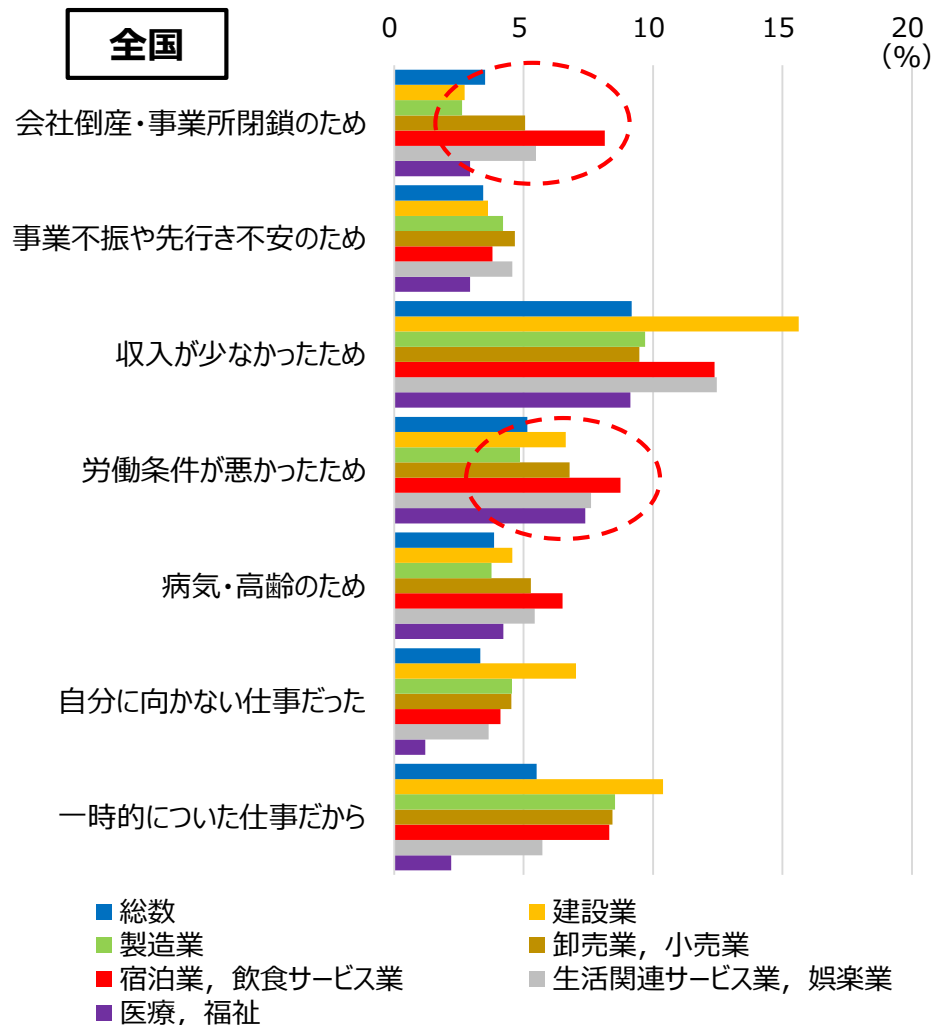
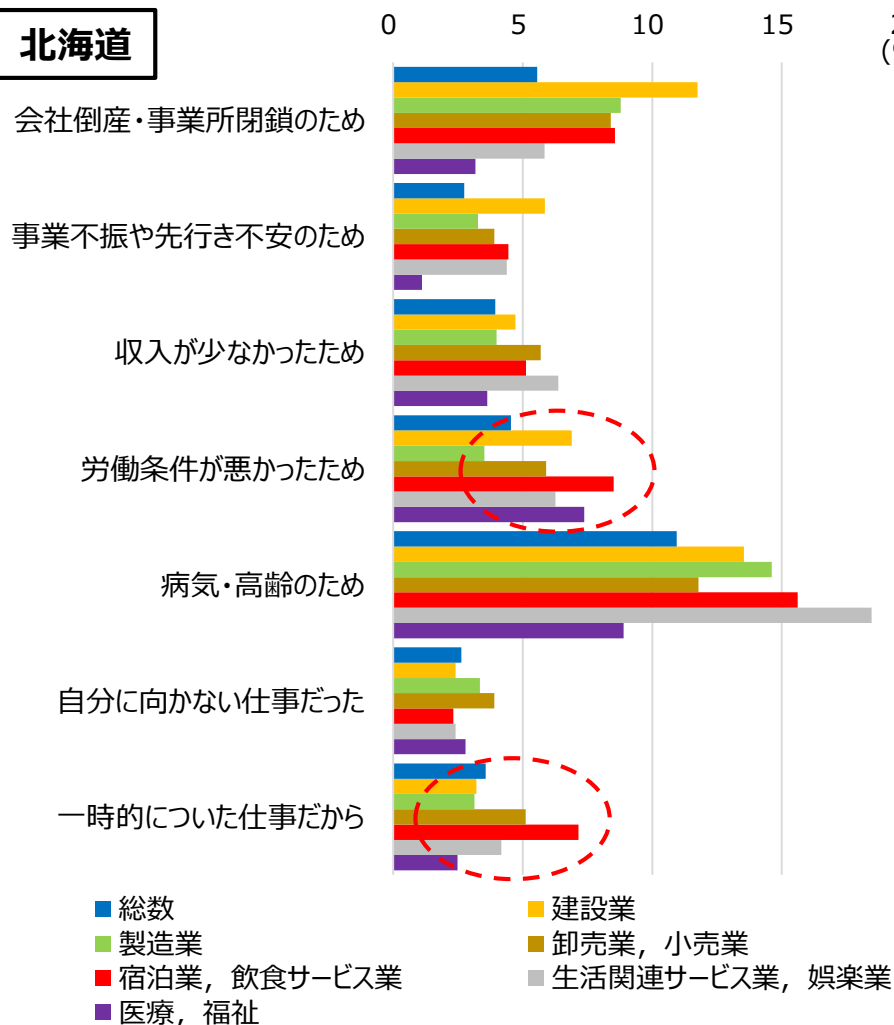
出典：総務省統計局「平成26年経済センサス基礎調査結果」

出典：北海道「毎月勤労統計調査」

観光分野の道内雇用状況について

離職理由については、全産業を通じて、全国では「収入が少ない」の割合が高く、北海道は「病気・高齢」の割合が高くなっている。宿泊業においては、北海道は「労働条件」、「一時的についた仕事」が、全国は「労働条件」、「会社倒産・事業所閉鎖」が他産業に比べて高い傾向にある。

産業別前職の離職理由（H24年）

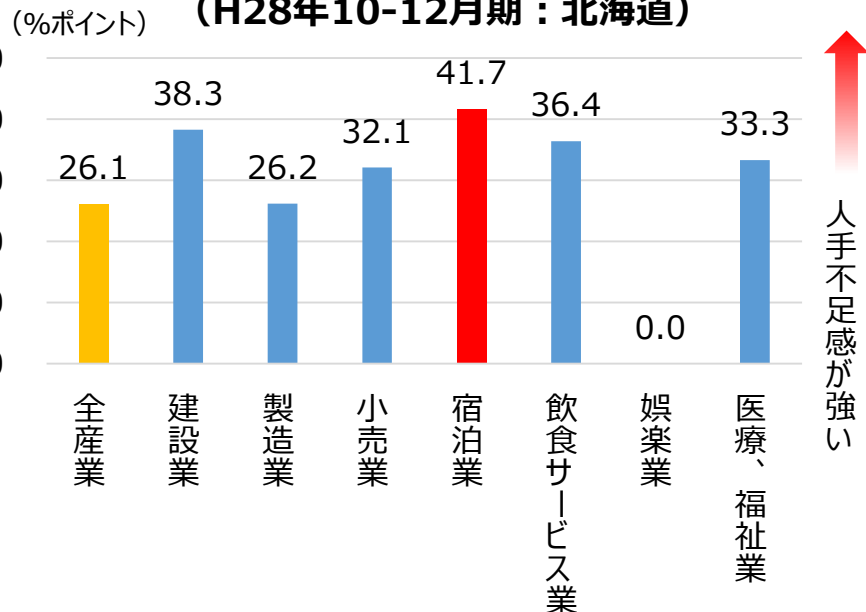


出典：総務省「平成24年就業構造基本調査」

観光分野の道内雇用状況について

宿泊業は人手不足感が強くなっており、調理人、調理見習、給仕、接客サービス員は求人数を求職者数が大きく下回っている。道内企業の中には、宿泊施設で働く人材を育成する取組を始めたところもある。

従業員数判断 (BSI)
(H28年10-12月期：北海道)



出典：北海道財務局「法人企業景気予測調査」

月間有効求人数と月間有効求職者数の差が大きい職種
(H29年1月)

(人)

順位	職種	求人数	求職者数	需給ギャップ
1	ホームヘルパー、ケアワーカー	8,633	3,518	5,115
2	調理人、調理見習	5,956	2,299	3,657
3	給仕、接客サービス員	4,581	1,997	2,584

出典：北海道財務局「Labor Letter」

宿泊業の職業訓練校開設へ

- 野口観光グループ（本社：登別市）では、2018年4月、旧苫小牧プリンスホテル内に、「野口観光ホテルプロフェッショナル学院」（2年制、全寮制）を設立予定。
- 総合ホテル学科のみの単科制で、ホテル従業員に必要な基礎知識や技能から道内の自然や歴史まで計31科目。
- 一学年の定員は30名。募集は高校新卒者に限り、同社社員として使用し在学中は給料を支払うが、卒業後は同業他社への就職も可能。
- 座学だけでなく、野口観光の主要ホテルがある登別温泉、北湯沢温泉、洞爺湖温泉で現場研修も行う。
- 宿泊業の様々な仕事（予約、企画、販売、接客・サービス等）を幅広く担える人材育成により、従業員の質を向上させ、労働環境の改善も目指す。

出典：野口観光グループからの資料提供より国土交通省北海道局作成。